

和歌山病院での実習を終えて



西田 雄一郎

今回呼吸器内科のポリクリの一環として、2日間和歌山病院で実習させていただきました。2日間という短い期間でしたが、本当に貴重な実習になったと感じております。

和歌山病院では結核を中心としてその病態や疫学、また画像の読影方法について勉強させていただきました。私は今まで胸部レントゲンの読影に苦手意識を抱いていましたが、南方先生からその原理について懇切丁寧に教えていただくことによって、読影の基本的な考え方を掴むことができました。さらに、今回の実習で自分の頭で考えることの大切さを改めて実感し、単純作業のように暗記していたこれまでの勉強法を見直すきっかけにもなりました。

また、大学病院での実習とは異なった視点から学ぶことができました。和歌山病院では感染症に対する検査、治療を考えるといった、大学病院で実習とは異なる面を学ぶことができました。これから医師を目指す上で必要となる知識を身につけ、将来臨床に現場でどのように診療していくべきかを考えるいい契機になったと感じております。

南方先生に連れて行っていただいたお食事会では色々なお話を聞くことができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

南方院長先生、駿田副院長先生をはじめ、和歌山病院のスタッフの方々には大変お世話になりました。2日間本当にありがとうございました。